2025年度 入学試験問題





(60分)

[注意]

- ① 問題は1~4まであります。
- ② 解答用紙はこの問題冊子の間にはさんであります。
- ③ 解答用紙には受験番号と氏名を必ず記入のこと。
- ④ 各問題とも解答は解答用紙の所定のところへ記入のこと。
- ⑤ 角すいの体積は (底面積)×(高さ)÷3で求められます。
- ⑥ 特に指示がなければ をうめてください。

西大和学園中学校

問題は次のページから始まります。

1

(1)
$$3 \div \left\{ \left(1.86 \div \frac{4}{7} - 3 \right) \div 0.25 - 1 \right\} = \boxed{}$$

- (4) 容器 A と容器 B には濃度の比が 6:5 で、質量の比が 5:4 の食塩水が入っています。容器 A から 10 g の水、容器 B から 40 g の水を蒸発させたところ、食塩水の濃度がどちらも 12.5 %になりました。容器 A に含まれる食塩の質量は g です。
- (5) N美術館の一人あたりの入館料は、通常料金で「おとな 1,700 円、子ども 1,000 円」です。ただし、10人以上がまとまって入館する場合には、団体割引が適用できて、通常料金から一人あたり 2割引きの料金で入場できます。

ある団体 80 人が団体割引で入館し、その後通常料金で 9 人が入館しました。この 89人の入館料の合計が 103,520 円であり、また、89 人のうち、子どもは 35 人であった とき、80 人の団体内でのおとなの人数は 人です。

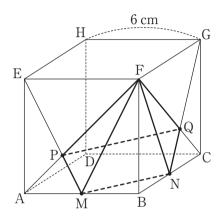
計算用紙

※切りはなしてはいけません。

問題は次のページへ続きます。

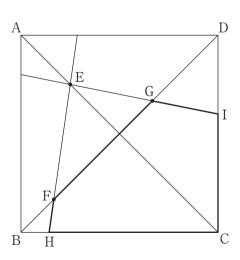
2

(1) 図のように一辺の長さが 6~cm の立方体 ABCD-EFGH において、AB、BC の真ん中の点をそれぞれ、M、N とします。AF と EM の交点を P、CF と GN の交点を Q とします。このとき、長さの比 $\frac{MN}{PQ}$ の値は $\boxed{$ あ $\boxed{}$ です。また、四角すい FPMNQ の体積は $\boxed{}$ い $\boxed{}$ cm^3 です。



(2) 面積が $140 \, \mathrm{cm}^2$ の正方形 ABCD があり、対角線 AC および対角線 BD 上に AE: EC = 1:3, BF: FG: GD = 1:3:2 となるように点 E, F, Gをとります。また、EF, EGを伸ばして、辺 BC, 辺 CD と 交わる点をそれぞれ H, I とします。このとき、長さの比 $\frac{\mathrm{BH}}{\mathrm{DI}}$ は $\boxed{\hspace{1.5cm}}$ あ $\boxed{\hspace{1.5cm}}$ で、五角形

CIGFH の面積は い cm²です。

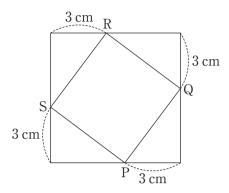


計算用紙

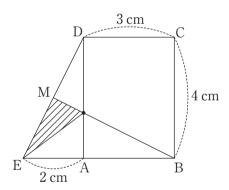
※切りはなしてはいけません。

問題は次のページへ続きます。

(3) 一辺の長さが7cm である正方形の各頂点から3cm の点をP, Q, R, Sとするとき, 正方形 PQRS の面積は あ cm²です。



図のように長方形 ABCD と直角三角形 DAE を組み合わせました。辺 DE の真ん中の点を M とするとき、斜線部分の面積は \updagger \updagger



計算用紙

※切りはなしてはいけません。

問題は次のページへ続きます。

(1) 整数Xに対して、Xのもっとも左の位の数を、もっとも右の位に移してできる整数を [X] とかくことにします。ただし、数を移したことにより、もっとも左の位の数から0が続いてしまう場合、その0を取り除くこととします。

また、Xが1桁の整数の場合は、[X]=Xとします。例えば、

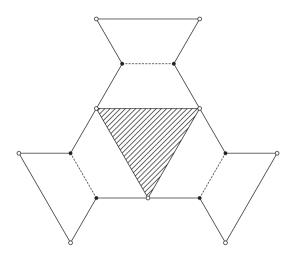
$$[5] = 5$$
, $[250] = 502$, $[2025] = 252$,

[2002050] = 20502, [[2002050]] = 5022

となります。

- (i) 4桁の整数Aに対して、 $A \div [A] = 10$ となるようなAは あ 個あります。
- (ii) 5桁の整数Bに対して、B-[B]=2025となるようなBは い 個あります。そのようなBのうち、もっとも大きい数は う であり、もっとも小さい数は え です。
- (iii) 4桁の整数Cに対して、[C]-[[C]]=2025 となるようなCは お 個あります。そのようなCのうち、もっとも大きい数は か であり、もっとも小さい数は き です。

(2) 展開図が下の図のような容器を、斜線の違られている面が底になるように組み立てます。その容積は、すべての面が一辺の長さが $6~{\rm cm}$ の正三角形からなる三角すいの体積の 倍です。ただし、展開図の $2~{\rm cm}$ のを実線で結んだ辺の長さは $12~{\rm cm}$, $2~{\rm cm}$ の を点線で結んだ辺の長さは $6~{\rm cm}$ であるとします。



4 数字1, 2, 3, 4 がかかれた 4 枚のカード

1. 2. 3. 4

が入っている袋があります。

西さんと大和さんはこのカードを使って、以下のルールに従ってゲームをしています。

 $(\mathcal{N} - \mathcal{N})$

- ① 袋の中からカードを1枚取り出し、そのカードにかかれている数字を記録します。その後、取り出したカードは袋の中に戻し、記録された数字の合計が10の倍数になるまで袋からカードを取り出し、袋の中へ戻すことを繰り返します。
- ② 記録された数字の合計が10の倍数になったとき、そのカードを袋に戻し、カードを引く人を交代します。交代された人は①を行います。

例えば、西さんからカードを取り出し始めて、取り出したカードが

 $2 \rightarrow 4 \rightarrow 2 \rightarrow 2$

となった場合,5回目からカードを取り出す人が大和さんに交代します。その後,大和さんが取り出したカードが

$$\boxed{4 \rightarrow 3 \rightarrow 2 \rightarrow 2 \rightarrow 1 \rightarrow 4 \rightarrow 1 \rightarrow 3}$$

となった場合, 西さんと大和さんの交代が1回あり, 合計で12回のカードを引き終わったときに2人のカードの合計が30となります。このようなカードの取り出し方を記号で

【交代 1. 回数 12. 合計 30】

と表すことにします。以下、記号【交代 A、回数 B、合計 C 】と表す場合、C は必ず 10 の倍数であるとします。

他にも、例えば、

 $4 \rightarrow 4 \rightarrow 4 \rightarrow 4 \rightarrow 4 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 3 \rightarrow 3 \rightarrow 2 \rightarrow 4 \rightarrow 3 \rightarrow 1 \rightarrow 4$ というカードの取り出し方は、【交代 2、回数 16、合計 50 】となる例の一つです。 このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 【交代 1, 回数 6, 合計 20 】となるようなカードの取り出し方は全部で何通りありますか。
- (2) 【交代 1, 回数 B, 合計 20 】となるようなカードの取り出し方が 0 通りと <u>ならない</u>ような整数 B は全部で何個ありますか。
- (3) 【交代 1, 回数 13, 合計 50 】となるようなカードの取り出し方は全部で何通りありますか。
- (4) 【交代 2, 回数 16, 合計 60 】となるようなカードの取り出し方は全部で何通りありますか。

問題は以上です。

算数解答用紙



250119-30

↓ここにシールを貼ってくだ	きい↓

受験番号	氏 名

※のらんには何も書かないこと。

	(1)	(2)	(3)	*	
1					
	(4)	(5)			
	(1	1)	(2)	*	
	あ	V.	あ		
2	(0)		2)		
	(2)	(.	3)		
	V	あ	V.		
	(1)				
		, ,		*	
	あ	γ ₂	う		
	(1)				
3	え	٠,	か		
	X	お	<i>y</i> -		
	(1)	(2)			
	き				
	(1)	(2)	(3)	*	
	通り	個	通り		
4	(4)				
	(4)				
	通り				

*			